

成人例の左室緻密化障害の全国二次調査

所属施設名：

診療科：

ご芳名：

-
- 1) 先生より、全国一次調査にて【 例】の経験例をご報告頂きました。各症例につき、別紙個人登録票にご記入をお願い申し上げます。
 - 2) 心エコーデータは、初診時(または一番古いデータ)と直近フォロー時の画像・心エコーレポートもご同封ください。
 - 3) 心エコー画像フォーマットはDVDに記録の上、各 Vendor format (GE, Philips, Toshiba, Aloka)でお送りください。
(コアラボに Vendor の解析装置がない場合は、AVI, DICOM format での再送付をお願いする場合があります。)
 - 4) お送りいただいたファイルに相当する未使用のDVDを、後日、事務局よりお送り致します。なお、ご送付いただいたファイルは返却いたしませんので、予めご了承ください。

2015年11月末日までに、個人登録票と心エコーデータ(DVDおよび心エコーレポート)を、同封の返信用封筒(レターパック)にて事務局までお送り下さい。

【成人例の左室緻密化障害の暫定的診断基準と断層心エコー図所見】

はじめに：左室緻密化障害(LVNC; left ventricular non-compaction)の確立した診断基準は、国内・国外問わず存在していないのが現状であるが、一般的には断層心エコー図法または心臓 MRI 検査にて左室内面の肉柱形成とその間の深い陥凹を証明することで診断されている^{a)}。心エコー法では Jenni^{b)}らの基準が最も引用されており、他に Chin^{c)}、Stollberger^{d)}らが提唱する心エコー法による診断基準もある。本調査では **Jenni と Chin らの断層心エコー法による診断基準のうち少なくとも1つ満たしていれば、LVNC と暫定的に診断する。**

【1】 Jenni の診断基準^{b)}

- 1) 左室心筋が緻密化層(C)と非緻密化層(NC)の2層からなる。
- 2) **収縮末期**に(NC)の壁厚が(C)の2倍以上 $(NC)/(C)>2$ (図A参照)
- 3) カラー Doppler 法で、網目状の肉柱形成の陥凹に左室内血流が観察される。
- 4) 他の心臓構造異常を伴わない。

【2】 Chin の診断基準^{c)}

- 1) 左室心尖部において肉柱部分(非緻密化層)を除いた壁厚(X)と肉柱部分を含めた壁厚(非緻密化層+緻密化層)(Y)を認める。
- 2) **拡張末期**に $(X)/(Y)\leq 0.5$ (図B参照)



図 A: Jenni の基準(収縮末期)

図 B: Chin の基準(拡張末期)

参考文献

- a) Ikeda U, et al. J Cardiol 2015; 65: 91-97.
- b) Jenni R, et al. Heart 2001; 86: 666-671.
- c) Chin TK, et al. Circulation 1990; 82: 507-513
- d) Stollberger C, et al. Am J Cardiol 2002; 90: 899-902